MITSUBISHI

三菱電機中温用パッケージエアコン

冷媒R410A対応

PCZG-P8MBA5
PCZG-P8MBA6
PCZG-P10MBA5
PCZG-P10MBA6

取扱説明書

もくじ

●この取扱説明書の上手な使い方

中温用エアコン知恵袋　Dr. 情報

と2つの情報が運転のしかたの順で掲載されています。通常の操作は運転のしかたをご覧いただき、より詳しく知りたいときに、この2つの情報をご利用ください。

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

1．安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意 の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	回転物に注意してください。 (室外ユニット本体に表示してあります。)
	絶対に水を掛けないでください。
	絶対に濡れた手で触らないでください。

●ご使用時

⚠警告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

禁止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

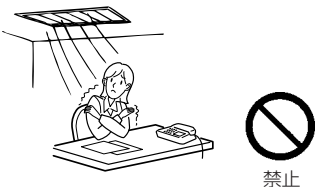
水濡れ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

濡れ手禁止

電気部品に水（洗浄水等）をかけない

電気部品に水（洗浄水等）がかかると、感電・発煙・発火の原因になります。

水濡れ禁止

薬品消毒はしない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！

内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁止

パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

分解禁止

●ご使用時

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

小麦粉、うどん粉、そば粉などの粉はフィルターおよび熱交換器を目詰まりさせ、故障の原因となります。

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼の原因になります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。

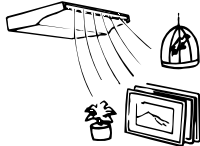
フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。

リモコンをとがった物で押さない。

感電、故障の原因になります。

●据付時

⚠警告

お客様ご自身で据付け・移動・再据付けはしない

工事に不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

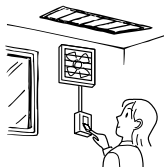
漏電遮断器を取付ける

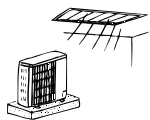
取付けていないと、感電・火災の原因になります。

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

●使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
●法令違反のおそれあり。
封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行う

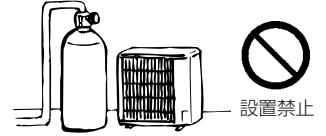
万一冷媒が漏れても限界濃度を越えないよう換気対策が必要です。冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

⚠警告

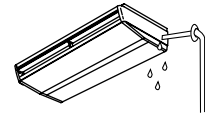
可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据付けない

ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

⚠注意

アース工事（D種接地工事）を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。
（冷媒が漏れたときの処置）
万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

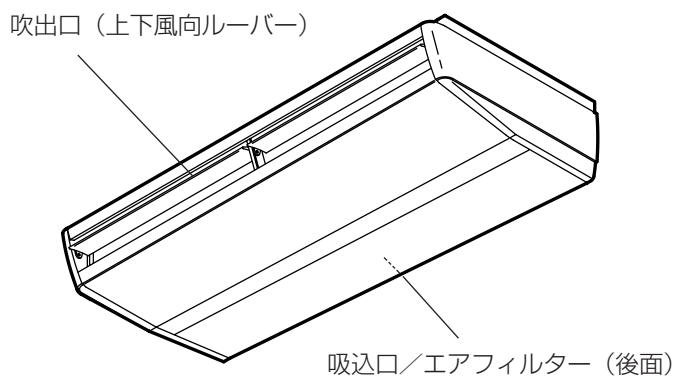
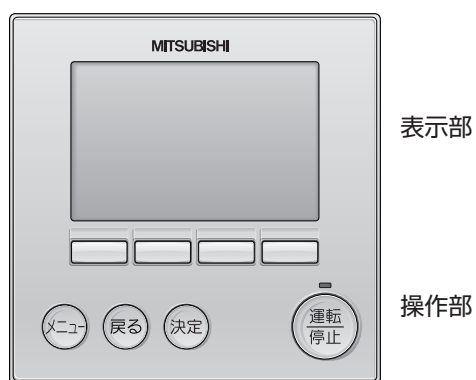
●次の場所への据付けは避けてください。

本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。
●可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
●粉や蒸気が多量に発生するところ
●酢（酢酸）を多量に使用するところ
●油煙がたちこめるところ
●温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
●海浜地区など塩分の多いところ
●積雪により室外ユニットが塞がれるところ
●炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

2．各部のなまえ

室内ユニット

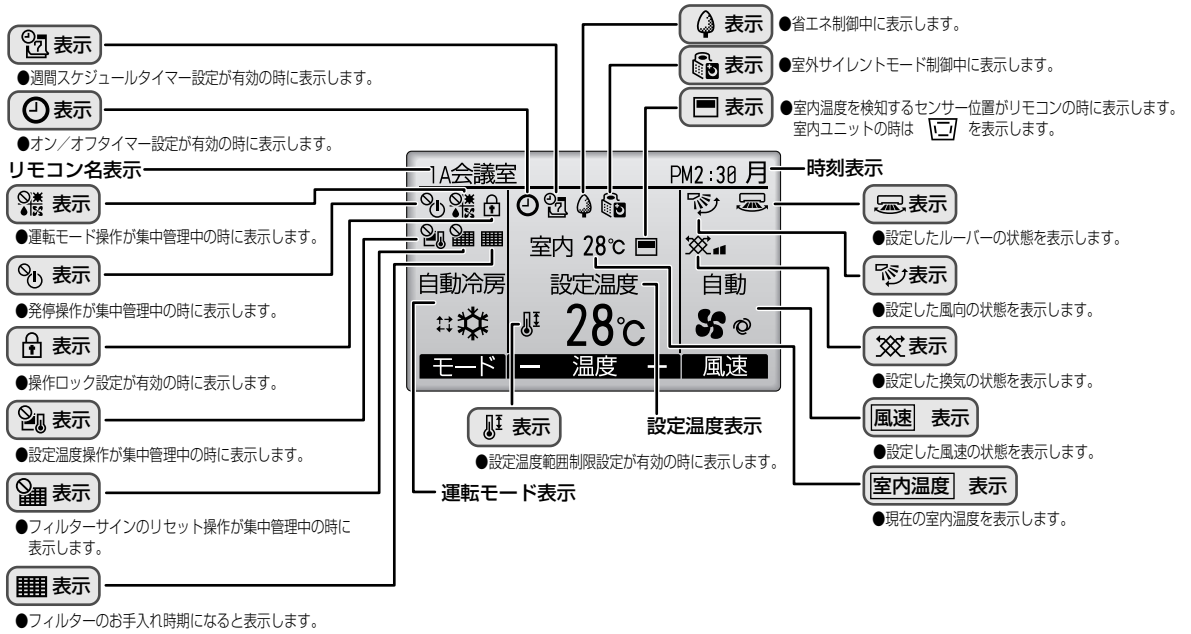
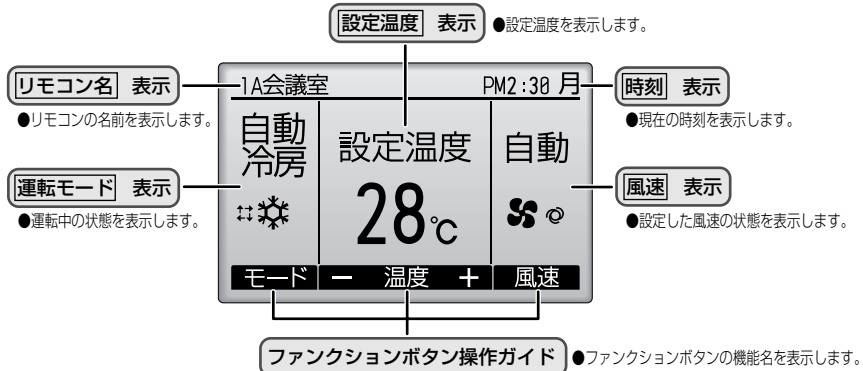
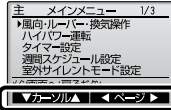
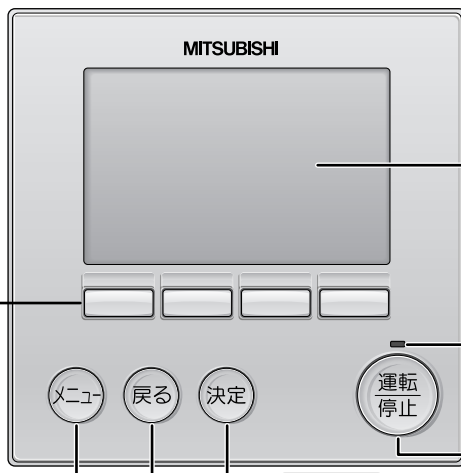
[PCZG形]

リモコン

ワイヤードリモコン
（別売部品）

3. 運転のしかた

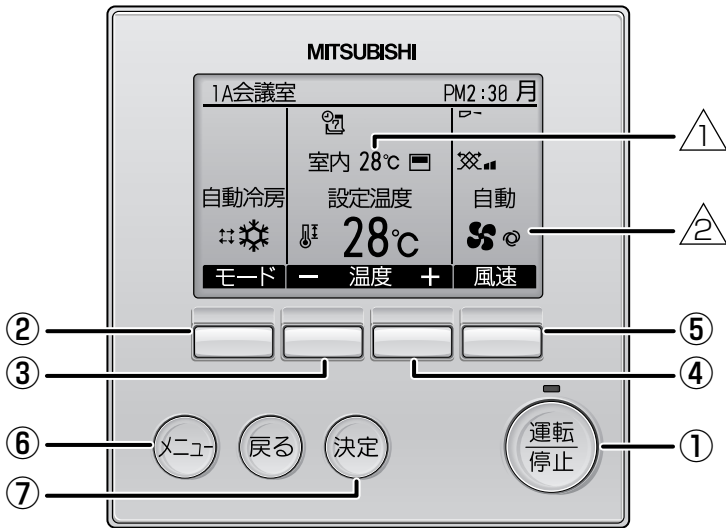
1 ワイヤードリモコン（別売部品）

表示部

■操作部、表示部はMAリモコンを記載しています。（説明のためすべての表示内容を示しています。）
■メイン画面の表示には「詳細画面」と「簡易画面」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

詳細画面
（メイン画面）

簡易画面
（メイン画面）

操作部

■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。（運転／停止ボタンは除く）
■基本運転（運転／停止、運転モード切換、風量調節、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。

(1) 運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転モード表示

冷房	自動
送風	自動冷房
暖房	自動暖房

お知らせ

- ●自動モード運転は、設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(11ページ参照)運転モードが確定した後に、現在の運転モード[自動(冷房)モード、自動(暖房)モード]が表示されます。
- ●リモコンの初期設定で自動冷暖表示設定が無しに変更されている場合には、自動(冷房)、自動(暖房)の表示はされません。

運転の開始、運転モードを選ぶとき

1 ボタン①を押す。

運転ランプと表示が点灯します。

2 ボタン②を押す。

●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 ➡ 送風 ➡ 自動※1 ➡ 暖房※1

※1 冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。

※2 換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。

設定温度を変えたいとき

室温を下げたいとき F2 ボタン③を押す。

室温を上げたいとき F3 ボタン④を押す。

- ● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
- ● 温度設定範囲は次の通りです。

冷房運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
10〜30℃	10〜28℃	10〜28℃	設定できません

※設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。
範囲を超えて設定しようとした場合、"設定温度制限中"が表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

●8℃まで表示しますが、表中の温度範囲にてご使用ください。

室温表示

運転中の吸込温度が△1に表示されます。

お知らせ

- ●表示範囲は8〜39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
- ●複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されます。
- ●室温センサー位置は、"本体"と"リモコン"が選択できます。初期設定は、"本体"となっております。室温センサー位置を"リモコン"に変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ●リモコン機能選択で"室温表示なし"が選択されている場合は、室温は表示されません。

風速を変えたいとき

ボタン⑤を押す。 F4

●1回押すごとに以下のように設定が切換わります。
風速が △2 に表示されます。
●設定できる風速は次のとおりです。

風速	リモコン表示
2段階機種	

お知らせ

■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
1.“暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
2.　暖房運転直後（モード切換待機中）
3.　暖房モードで設定温度より室温が高いとき

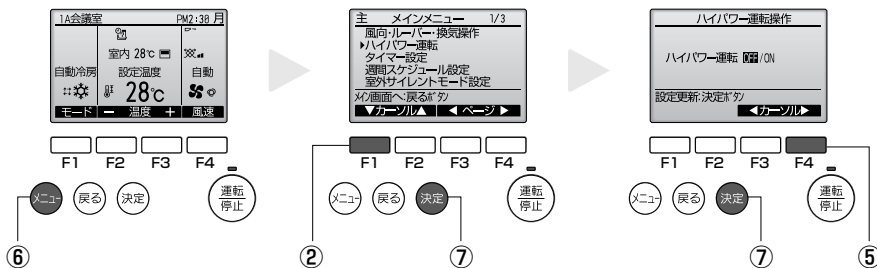
上下風向を変えたいとき（手動）

●転倒しないよう足場をしっかりさせてください。
●運転を停止し、風向ルーバーをお好みの向きに調節してください。

ハイパワー運転を行うとき

1 ボタン⑥を押す。

2 ボタン②を押す。
ボタン⑦を押す。

3 ボタン⑤を押す。
ボタン⑦を押す。

●運転能力を上げて、すばやく快適な室温に近づけます。
●ハイパワー運転は最大30分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
●運転モード切換、風速切換を行ったときも、通常運転に戻ります。
●室外ユニットおよび室内ユニットの騒音が大きくなることがあります。

お 知 ら せ

■ハイパワー運転は、ワイヤレスリモコンでは行えません。

運転を停止するとき

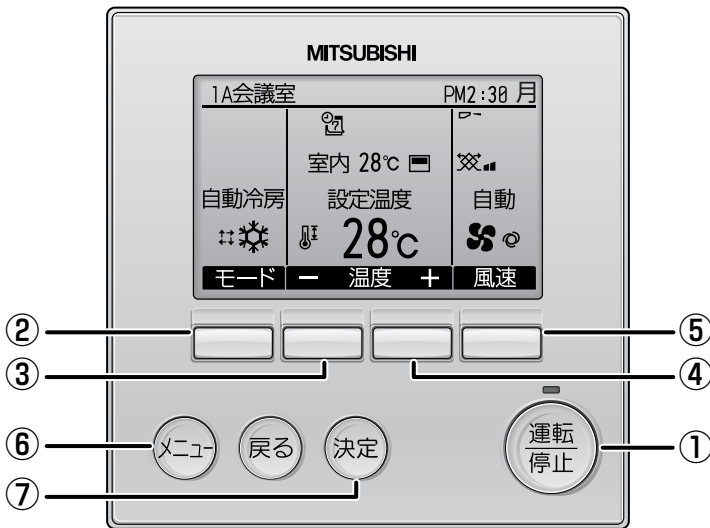
1 ボタン①を押す。

⚠ 注　意	運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。 水漏れや故障の原因となることがあります。

再運転時の動作内容

■右表の内容で動作します。

運転モード	前回の運転モード
設 定 温 度	前回の設定温度
風　　速	前回の設定風速

(2) 自動運転、換気運転のしかた

運転モード表示	
冷房	自動
送風	自動冷房
暖房	自動暖房

自動運転を行うとき

1 ボタン①を押す。

2 ボタン②を押す。

（運転停止）▼ F1 表示を 自動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。（11ページ参照）

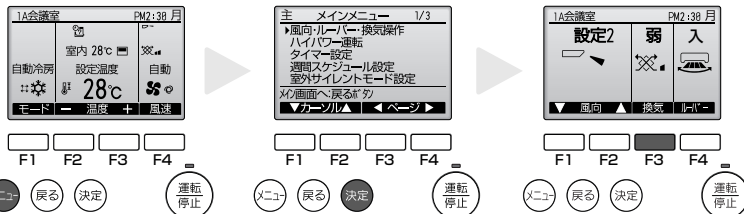
※運転モードが確定した後に、現在の運転モード［自動冷房］、［自動暖房］が表示されます。
尚、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示:しない」に設定変更されている場合には、“冷房”、“暖房”は表示されません。（［自動］の表示のみ）
（リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照してください。）

換気運転を行うとき

●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき （運転停止） ボタン①を押す。

●室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

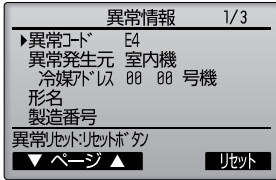
●換気装置を単独で運転するとき

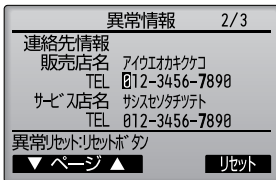
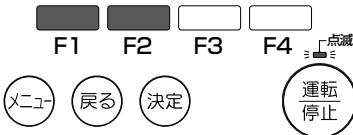
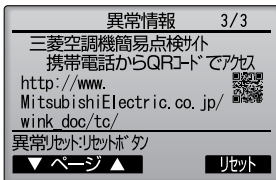
1 ボタン⑥を押す。 **2** ボタン⑦を押す。（「風向・換気・ルーバー」を選択している状態で） **3** ボタン④を押す。

●換気運転の風速を変えたいとき

F3 ボタン④を押す。

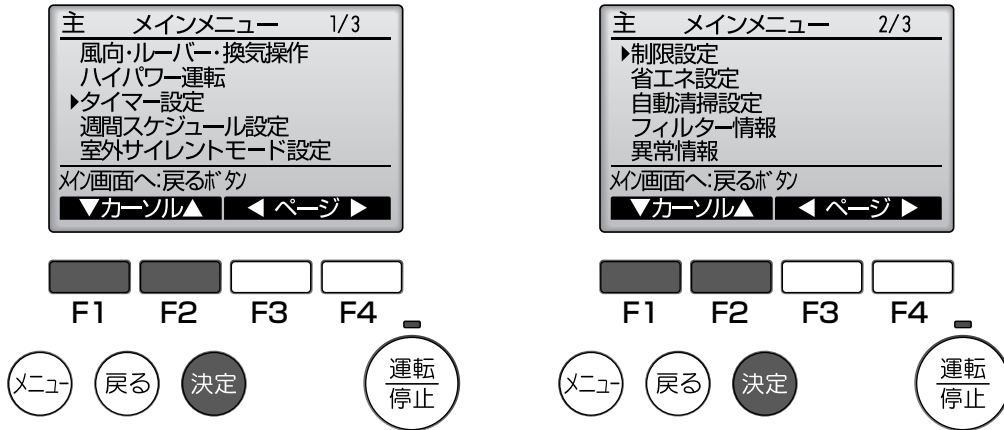
お　知　ら　せ
■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

(3) その他の表示・点滅について

●「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。
異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

異常コード、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

F1 F2 ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスサイトの QR コードと URL が表示されます。

(4) タイマー、スケジュール、静音、省エネ運転のしかた

リモコンからタイマー運転、週間スケジュール運転、室外サイレントモード運転（静音運転）、省エネ運転の設定ができます。
リモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、 F1 F2 ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、ワイヤードリモコンの取扱説明書をご確認ください。

タイマー運転

■オン／オフタイマー
運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

■消忘れ防止タイマー
運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

1週間の運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
1日最大8パターンの設定ができます。

室外サイレントモード運転

室外ユニットの静音性を優先した運転を行います。
1週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
室外ユニットの静音レベルは「標準」「中」「静」から選択できます。

標準　中　静

省エネ運転

■設定温度自動復帰
設定時間後に、設定した温度に戻します。
設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

■省エネ運転スケジュール
1週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値が設定できます。
1日最大4パターンの設定ができます。
設定時刻は5分単位で設定できます。
能力セーブ値は10%単位で90%から50%の範囲と0%で設定できます。

Dr.情報 もうちょっと詳しく知りたい

■使用温度範囲

		室内	室外
冷房	乾球温度	10℃～30℃	-5℃～43℃
	湿球温度	6.5℃～22.5℃	－
暖房	乾球温度	10℃～28℃	-11℃～21℃
	湿球温度	－	-12～15℃
送風・換気	乾球温度	－	－

■暖房運転について

●暖房開始時に風が弱い：吹出し空気温度が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。その間ワイヤードリモコンには"暖房準備中"と表示されます。

●風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となり、風速は弱風となります。

●風が出ない：ワイヤードリモコンに"霜取中"表示中は風を出しません。

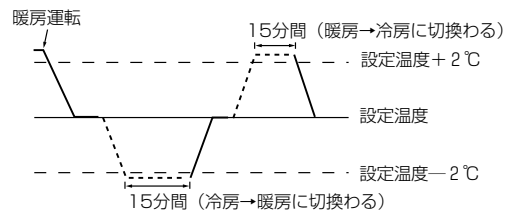
●運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間電気ヒーター等の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

■送風運転とは

●送風運転はお部屋の空気を循環させる働きをします。冷房・暖房運転をしない中間期に換気装置と連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

■自動運転とは

●設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。

●自動で運転している間に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分以上続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分以上続くと暖房運転に切換わります。

■換気連動運転とは

●室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

中温用エアコン知恵袋　上手な使い方

●中温用パッケージエアコンを上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

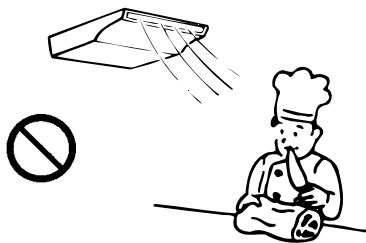
室内温度（室温）は最適に

●冷やしすぎは健康によくありません。
電力のムダ使いにもなります。
●たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の
電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

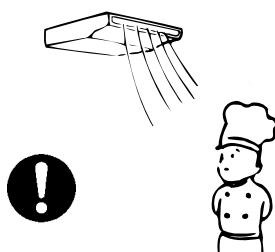
●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンを
ひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
●出入口は必要なとき以外は開けない。
開放のままにしないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くし
たり、健康障害の原因となることがあります。
●エアコンの風向に注意しましょう。

フィルターの掃除を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房
能力が落ちます。また、電力のムダ使いとなります。
また露付・露たれの原因にもなります。
●標準装備のエアフィルターは週に一度以上清掃してくだ
さい。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

●冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることが
あります。冷たい空気は重たいので水平吹出などにして、
上方から冷やすよう風向を調節してください。
●暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近
くに溜まるからです。下吹出などにして風向を調節して
ください。

ときどき換気を

●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、とき
どき換気が必要です。
●送風運転では、室温の設定はできませんが、お部屋の
空気を循環させるはたらきをします。
●冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転を
しますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナ
イ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

4.「故障かな？」と思ったら

●「故障かな？」と思ったら

Q 故障かな?　A お答えします（故障ではありません）

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A
■フィルターの清掃をしてください。（フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです）
■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
■室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。
室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？
■窓やドアが開いていませんか？
■風速を 弱・自動 で運転している場合、冷えや暖まりが弱い場合があります。このような場合は、風速を強に変更してください。

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房準備中表示がでる。

A
■充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A
■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A
■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A
■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A
■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。

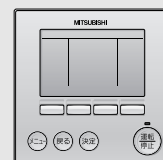
Q 室内ユニットより白い霧がでる。

A
■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水がでる。

A
■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。

Q リモコンの運転表示が点灯しない。

A
■電源開閉器を入れてください。
表示部に罫線が表示されます。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
■ の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止の操作が禁止となっています

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
■ の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
■ の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています

「故障かな？」と思ったら

Q 故障かな?　**A** お答えします（故障ではありません）

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A ■ 約3分間お待ちください。
（エアコンを保護するため、止まっています）

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A ■入タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■ の表示が点灯していませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■停電自動復帰を設定していませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A ■切タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか？
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■ の表示が点灯していませんか？
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A ■タイマー設定が無効となっていませんか？
タイマー設定が有効なときは、 、 のいずれかが表示されています。

Q リモコンに “Please Wait” の表示が出る。

A ■初期設定（約3分）を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 排水音やモータの回転音がする。

A ■冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカ（別売部品）を運転してから停止するためです。3分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A ■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3～7dB	6～10dB	9～13dB

5．お手入れのしかた

⚠警告

エアコンおよびリモコンを水洗いしない
●水が侵入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

⚠注意

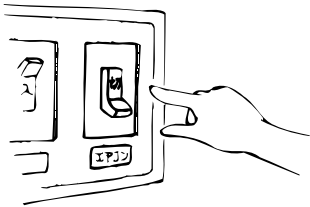
フィルターの着脱のときは不安定な台に乗らない
●落下・転倒によるケガの原因になることがあります。

フィルターの着脱には保護具（メガネなど）を着用する
●目にゴミが入り、ケガの原因になります。

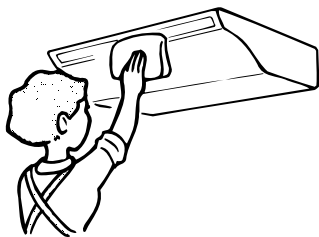
清掃の時は運転を止め、電源スイッチを切る
●運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。

フィルターを取外した状態で運転しない。
●内部にゴミなどがつまり、故障の原因になります。

お手入れの前に

■必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニット、リモコンの清掃

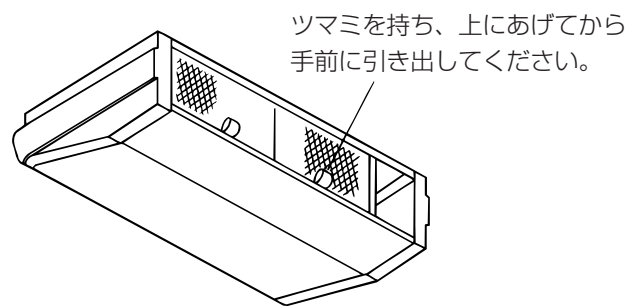
■やわらかい布でから拭きをしてください。

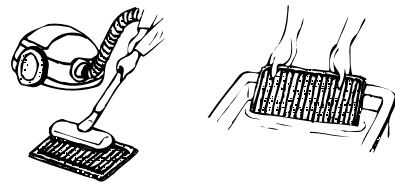
■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用してください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。また、リモコンケースは取外さないでください。

フィルターの清掃

(1)フィルターを取外す。

(2)フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

■フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

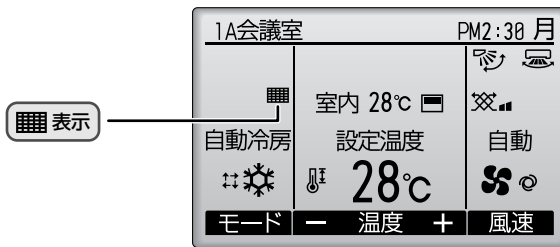
(4)フィルターを元の状態に取付ける。
（取外しの逆の手順）

エアフィルターの清掃時期

■標準装備のエアフィルターは一週間に一度（特にホコリの多い所ではそれ以上）清掃してください。

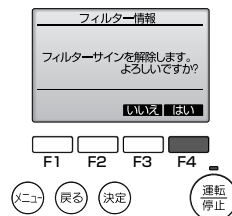
■別売部品のロングライフフィルターの清掃時期の目安は約2500時間です。

■ [▦表示] 表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。

運 転 時 間
100時間

表示をリセットする

1 『フィルター情報』を表示します。

2 [F4]ボタンを押す。

3 [F4]ボタンを押す。

4 完了画面が表示されます。

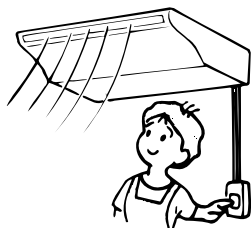
■必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。

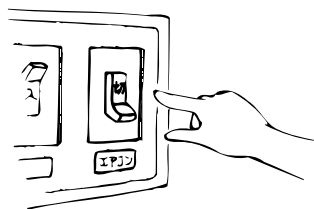
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期がくれば"フィルター清掃"が表示されます〈ロングライフフィルター：2500時間、一般フィルター：100時間〉。表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。

■運転時間で表示される"フィルター清掃"表示は、一般的な室 内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度 が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

6. 長期間ご使用にならないとき

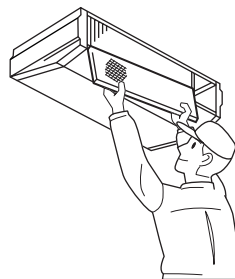
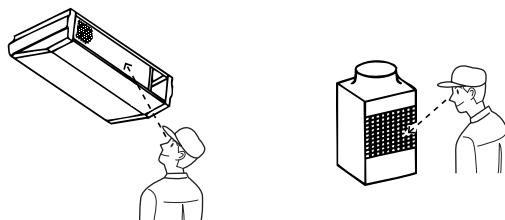
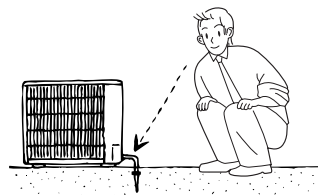
長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因になります。

(2)エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると、運転していなくても数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

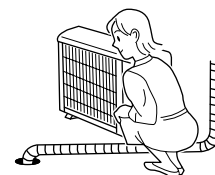
再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行ない、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

(1)フィルターを清掃して、取付ける。

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。

(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない

●アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

7．別売部品

多様な使い方に対応いただけるように、専用の別売部品を用意しています。
詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

ユニット用別売部品

■ドレンアップメカ（揚程500mm）…………… 冷房時発生したエアコン内の水を天井内にくみ上げて排水するポンプです。

■ロングライフフィルター……………………… 一度の清掃で約2500時間使用できます。
（空気条件により使用可能な時間は異なります。）

制御用別売部品

■集中コントローラー…………………………… 室内ユニット50台までを集中制御できます。
集中制御には、一括／グループ毎に運転・停止／運転モードの切換え／設定温度の変更などを行うことができます。

8．保証とアフターサービス

■保証書は室内ユニットに添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。

■エアコンに使用れている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が完全に行われたことをサービスマンに確認してください。

■この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安 [保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

下記は、以下のご使用条件の場合です。
（1）頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
（2）製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間が長い場所。（24時間空調等）

表-1．「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為にお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
●電気部品に絶対に水(洗浄水等)をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。
●補修用部品の保有期間について
このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表-2．「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	透湿膜式加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	自然蒸発式加湿エレメント		3年
平滑コンデンサー		10年	クランクケースヒーター		8年

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為にお役立てください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。

●良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

●エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

9．移設・工事・点検について

■移設について

⚠警告	据付や移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。
	●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。 ●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

⚠注意	●可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
②次の場所への据付けは避けてください。
・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
・炎の近くや溶接時のスパッターなど、火の粉が飛び散るところ
・酢（酢酸）を多量に使用するところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・粉や蒸気が多量に発生するところ
・油煙のたちこめるところ
・湿気の多い場所
・高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

⚠注意	●アース工事を行う。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。
	●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。 漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

①据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

10. 仕　様

50/60Hz

	天吊形	
室内ユニット形名(冷暖房・冷房専用形共通)	PCZG-P8MBA5,6	PCZG-P10MBA5,6
騒　音：強一弱　dB	55-52	55-52
標準風量：強一弱　m^3／min	70-60	70-60
標 準 機 外 静 圧　Pa	0	0
外形寸法（高さ×巾×奥行）mm	320×2100×800	320×2100×800
質量　kg	90	90

※電気特性は製品に貼付けしてあります製品銘板に記入してあります。
※騒音値はA特性値です。

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者				
施設名称		系統名		設置年月日				
施設所在地		電話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者 会社名		責任者			用途	空調用	検知装置	
点検事業者 所在地		電話		冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）

使用冷媒	R410A	初期充填量（kg）		点検周期	基準		実績（月）	

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視・検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

●フロンの見える化

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン回収破壊法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内機に表示されているフロン類の二酸化炭素換算値は、一般的な組合せ（室外機1台 / 室内機1台）での、冷媒配管長 30m を想定した冷媒量を元にしています。
システム全体でのフロン類の二酸化炭素換算値は、室外機に表示されています。（3135kg ～ 16.1ton）

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 9 年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。

お買い上げ店名	電話
お買い上げ(据付)日	年　月　日

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT06157X03